

議案第81号

令和2年度宝塚市一般会計補正予算（第6号）

資料1 (39)(41) 小中学校図書室用図書購入（小学校・中学校運営事業）

1 目的

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、学校における長期休業が実施され、家庭学習による教育格差が生じる恐れもあるため、教育振興基本計画で定められた重点施策でもある「読書活動を推進します」をより一層推し進めることによって、子どもたちの学力基盤を維持していく必要性が高まっている。

学校図書館は10年以上経過している蔵書数の割合が年々増えているため、読書活動を推進するためには、子どもたちが興味を示すような新しい図書を導入し、貸出数を増やす必要があり、古い学校図書の更新を行い、読書活動推進の強化を図る。

また、今後、第2波・第3波が occuri、分散登校となった場合の対応を想定しており、家庭学習で学校図書を活用してもらうためには蔵書数は増やす必要がある。

2 図書の廃棄基準

全国学校図書館協議会が制定している「学校図書館図書廃棄規準」に基づくと、貴重書や郷土資料等廃棄の対象としない図書以外については、刊行後10年経過したものは概ね廃棄の対象となる。

3 積算

平成17年以前の図書冊数割合を40%以下にする …①

	必要更新数（冊）	図書1冊購入 平均額（円）	更新必要額（円）	※H17以前の割合 （現状）
小学校	49,101	1,278	62,751,078	56.5%
中学校	28,886	994	28,712,684	57.4%

R2年度予算額 …②

小学校	13,212,000 円
中学校	6,567,000 円
合計	19,779,000 円

必要予算額（18-1-015図書室用備品） …①－②

小学校	49,540,000 円	1校あたり 2,064千円、約1,615冊
中学校	22,146,000 円	1校あたり 1,845千円、約1,856冊
合計	71,686,000 円	